

# 『時事直言』 No.1704 2024年11月1日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] [増田俊男チャンネル/](#)

[instagram] [t\\_masuda2019/](#)



時事評論家 増田俊男

## 北朝鮮軍ロシア派兵を最も恐れるアメリカ

北朝鮮のロシアへの派兵は、2024年6月19日ロシアと北朝鮮間で締結された「包括的戦略パートナーシップ条約」に基づく。

本条約第四条は、「露朝いずれかが武力侵攻を受け、戦争状態になった場合、遅滞なく保有するあらゆる手段で軍事的、その他の援助を提供する」となっている。

ウクライナ軍は2024年8月上旬越境してロシア領クルスク州を圧制したのだから北朝鮮が条約にのっとりロシアに軍を投入するのは当然である。

ウクライナ軍が越境してロシア領に侵攻した。私は、プーチンは抵抗せずウクライナ軍を故意にロシア領内進行させるだろうと述べた。それはロシア軍ではなく、やがて訓練を終える北朝鮮の陸軍と空軍にロシア領に侵攻しているウクライナ軍を壊滅させる為である。

アメリカでは金正恩のロシア軍事支援はプーチンに見返りとして軍事技術を求める為と報道されているが、メディアは誘導されて見当違いの報道をしているに過ぎない。

北朝鮮はロシアの高度な軍事技術、特にICBMや核技術は今まで享受し続けてきたし、これからも続くので見返りの対象にならない。

アメリカも韓国も北朝鮮もこれから停戦中の朝鮮戦争が再開されることを知っている。

露朝包括的戦略パートナーシップ条約に基づき北朝鮮がウクライナ戦争に参戦するのだから、今度はロシアが朝鮮戦争に参戦する番である。

朝鮮戦争になって在韓米軍がロシア軍と直接戦争をすることをアメリカは最も恐れているのである。

北朝鮮のウクライナ戦争参戦を恐れるゼレンスキー大統領とバイデン大統領では恐れる世界が違っているのである。

外交、軍事超ノ一天気の日には朝鮮戦争再開の準備が全く出来ていない。

「超ノ一天気こそが安全の要」なのかも知れない。

自らを思い、日本を案ずる者よ、来たれあれ「増田塾」!



19日、平壤で握手するロシアのプーチン大統領（左）と金正恩朝鮮労働党総書記

### 大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.143

#### 『アメリカの虚像と実像』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 143 は**好評発売中**です。

内容は、**\*アメリカの建国は誰の為であったのか** \*アメリカは人種、宗教、文化、権力闘争の分断社会 \*アメリカは永遠の暴力社会である \*ウクライナ戦争もイスラエル・ハマス戦争も出来レースである。**\*進む日本の対米支援体制** \*戦後 80 年にして**ジャパン・アズ・No.1**が蘇る等です。価格は、**1冊 4,800 円(税・送料別)**。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U. S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/> ) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。